



発行
天理教本愛大教会
〒453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
FAX (052) 461-4320
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広 報 部

今こそたすけ合いの心で

本愛大教会長 安藤正治

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に影響を及ぼしています。WHOは「パンデミック」であるとの認識を示しました。

こうした状況の中、毎年3月に開催される「学生生徒修養会・大学の部」「春の学生おぢばがえり」が中止となり、4月に予定されていた「婦人会創立110周年記念第102回総会」の式典と関連行事もすべて取りやめとなりました。

本愛大教会でも、3月15日に予定していた「少年会本愛団第51回総会」を中止しました。また、本部婦人

会総会の中止に伴い、予定していた団参も取りやめることと致しました。

こうした行事はいずれも、日頃の信仰の集大成と言えるものです。この日に向けて、子供たちのおつとめ練習や団参の呼びかけ、婦人会総会への丹精に心を尽くされてきた方々の心痛はいかばかりかと思うと、本当に痛切の極みです。

しかしながら、お見せいただく出来事をただ嘆くのではなく、その中に親神様の思召を求めることこそ、お道を信仰する者の態度でしょう。どんな中にも、親

活動目標

喜びの旬
おたすけの日々
楽しみの道

神様の思いを探り、心の成人へとつなげる中に、大節が生き節へと変わるご守護をお見せいただくのではな

いかと思案するのです。教祖は、明治に深刻な被害を出した感染症「コレラ」が広がる状況をご覧になり、以下のようにお示し

くださっています。せかいにハこれらとゆうているけれど 月日さんねんしらす事なり せかいぢうどこの人でもをなぢ事 いつむばかりの心なれとも これからハ心しいかりいれかへて よふきづくめの心なるよふ 月日にわにんけんはじめかけたのわ よふきゆさがみたいゆへから

(十四—22—25)

また、現代では「天然痘」と呼ばれる「ほうそ」に対しても、「これから八月日たのみや一れつわ 心しいかりいれかゑてくれ」(十二—91)と、人々が心を入れ替え互いにたすけ合う陽気ぐらしの世を急ぎ込まれる親神様の親心を、繰り返しお説きくださっています。

私たちがすべきことは、普段と何も変わりません。人のたすかりを願ひ、その一点に心を込めておつとめを勤める。深刻な被害が広がる今こそ、そこに親神様の「残念」を汲み取り、互いたすけ合いの心を胸に刻み直しましょう。

「一手一つに皆結んでくれるなら、どんな守護もする」(明治31年1月19日)とお示しくださいます。大変な状況の中ですが、今こそ、楽しみの道を目指して、おたすけの日々を過ごしていきたいでしょう。(4月1日)

4月のこよみ

入 社 祭

1日 午前10時

祭典終了後、教会長連絡会

よふき会例会

2日 午前10時

青年会例会

4日 午前10時

女子青年例会

4日 午前10時

むつみ会例会

4日 午前10時

こはる会例会

4日 午前10時

月 次 祭

13日 午前10時

布教実修所

14日 午前9時30分

教祖誕生祭

18日 午前10時

雅楽勉強会

19日 午前10時

本部月次祭

26日 午前9時

全教一斉ひのきしんデー

29日

今、私たちにできること——

婦人会・少年会・学生担当委員会に聞く

小中高の一斉休校やイベント等の自粛など、新型コロナウイルスは私たちの生活に大きな影響を与えている。

教内でも「学生生徒修養会・大学の部」「同高校卒業生コース」の中止が始まり、「春の学生おぢばがえり」や「婦人会記念総会」、また大教会の「少年会総会」などの中止が相次いで発表された。3月の本部月次祭にも一般参拝の自粛が要請されるなど、信仰生活にも大きな影響が及んでいる。

今回、それぞれの活動の要となる大きな行事の中止を受けて、大教会の婦人会、少年会、学生担当委員会の各責任者に現在の状況に対する思いを聞かせてもらった。

婦人会本愛支部長

安藤くみ子

日頃は婦人会活動の上にご丹精くださり、誠にありがとうございます。また、「天理教婦人会創立110周年記念第102回総会」に向けては、皆様に大変なご尽力を頂きましたことを、この場を借りて心から御礼申し上げます。

すでにお知らせさせて頂いていたことではありますが、この度の記念総会とその関連行事の開催中止が決定されました。記念総会に向けて、ご多用の中にもかかわらず予定を空けて、一人でも多くの方をおぢばへお連れしようと努力を重ね、お声かけをして下さっていた皆様の姿や、パレードへの出演を楽しみに、準備や練習に励んで下さっていた方々の姿を思っています、大変申し訳なく、残念な気持ちでいっぱいです。今回のふしは、世界に対して、お道に対して、そして、私たち

それぞれに対してお見せいただいたものであり、私自身としても足りない部分があったと反省しているところです。

新型コロナウイルスの感染拡大に関して、初めは対岸の火事のような気分でした方も少なくはないと思います。それが自分たちの関係する身近な場所で行事の自粛や規模の縮小などが相次いで発表されていくうちに、まさに私たち自身に見せられているふしなのだ感じる状況になりました。

こうした中で、その困難を乗り越えるべく、世界各国が協力し合い、一丸となってウイルスに立ち向かおうとする姿は、世界の本来あるべき、たすけ合いの姿だと感じます。そして何より、今回のふしによって、親神様の懐住まいの中で世界中の人々が生活を共にしており、世界は密接につながっているのだということを確認する機会にもなりました。

私たちがふしから芽を出すこ

守護を頂くには、そこに込められている親神様の深い親心を探り、しっかりと思案を重ねて、そのお心にお応えできることを考え、それを実行することだと思っています。このような事情を見せてまで、私たちに何を教えてくださっているのか、何が足りなかつたのかを、それぞれが思案させて頂いたことが肝心だと思います。

今回、記念総会が中止になったことで、月並みな言い方も出来ませんが、今まで毎年総会を開催できていたことは当たり前ではなかつたんだと、あらためて強く感じました。親神様のご守護に感謝し、与えを喜び、周囲の人々に先祖の御教えを伝えていく使命を、この機会に一層自覚させていたがましう。そして、このふしを無駄にすることなく、来年の本部婦人会総会、そして今後の婦人会活動の発展につなげていけるよう、共に、さらに明るく歩みを進めていきたいと思います。

少年会本愛団团长

出口 邦郎

今回、少年会総会が中止ということが決まったときに、我々育成会員は、まず少年会員の気持ちを汲み取り、今後どうするのかを考えなくてはいけないなと思いました。

少年会員の方々は、どの子ども1月12日に役割を発表してから練習を積み重ねてこられたと思います。そして本来なら3月15日の総会でおつとめを勤めて、育成会員や教会の方々から「おつとめ上手だったよ」「神様喜んでるよ」「私もうれしかったよ」ということを言ってもらうことができたと思います。それを受けて子供たちも「喜んでもらえた」という気持ちになれたと思うのです。

総会を開催できなかったのは非常に残念でしたが、おつとめをさせてもらおうと決意し、練習をしてきた少年会員らを育成会

員の皆様方は、認め、讃えてあげてほしいと思います。言葉を加えると、総会で勤めることも大切だけれど、そこまでの経過を親神様・教祖は喜んでいてくださるということを伝えていたいただきたいのです。

ただ、今年の成人門出者の中学生には申し訳ない気持ちです。特に祭儀式や総会式典の役割を引き受けてくれた子たちは、おつとめに加えて大変な役目を受けてくれているので、それは本当にお詫びしたいと思えます。

少年会員にとっては一生に一回のことなので、何かを感じ取って次の会に移る大切な行事であるということを疎かにしていたのではと、親神様から厳しく教えていただきました。

今回総会ができなかったことは、おそらく子供たちの心に残ると思います。その心に残るところに言葉を添えて、この機会を活かしていただけたら幸いです。

本愛学生担当委員会委員長

板山 眞一

学生会の行事が軒並み中止になり、これらの行事のために予定を空け、またその日を楽しみにしてくれていた学生たちも、非常に残念に思っていることだと思います。しかし、参加しよう、仲間に声をかけようと努力した学生たちの思いは、ちゃんと親神様がお受け取りくださっているはずですよ。

今回の件で改めて、おちばへ帰らせていただくことの尊さ、あるいはおちばで学ばせていただけのことの喜びやありがたさについて感じさせられました。学生たちがおちばへ帰ってくる姿を、神様がどれだけ楽しみにしてくださっていたかと考えれば、今後の学生会の活動には、これまで以上に強い情熱や、思いを傾けていけるのではないでしょうかと。

行事は中止となってしまいましたが、学生に対する丹精をこ

こで遮断してしまうのではなく、今こそ働きかけが大事だと思います。学校が休みだとしても、それぞれの生活の基盤の中で、交友関係や、社会とのつながりを持つて動いている学生たちは大勢います。直接的な接触が難しくても、今の時代の学生が日常的に使っている、スマホやメール等のツールを用いて声をかけ、あるいは今後の学生会の活動について語るなど、いろんな方法があるでしょう。

導く側から学生に対してのアプローチも、学生同士のコミュニケーションも、可能な手段で図ってほしいと思いますし、このコロナウイルスのふしが治まった後に、再び学生会の活動が活発に動いていけるよう、今から準備をしてほしいと思います。

学担としても、今まで以上に学生会の活動を支援していきまします。また、学生会の活動に参加をしてくれる会員をもっと増やしていきたいと思っています。

教理随想



言わん言えんの理を探る

近年は様々な分野で技術が進歩して、十年前と比べると二十年前は生活が一変しました。その象徴がスマートフォンです。何でも瞬時に調べられるので、書籍としての地図や時刻表、百科事典などはあまり使われなくなりましたし、今春からは新たに5Gという通信規格がスタートして、速度がさらに速くなり便利になります。

また医療の分野でも研究が進み、苦痛を伴う症状がかなり抑えられるようになってきました。こうした進歩は便利でありがたいこと

ですが、その一方で便利さや豊かさに心を流されないように、十分注意を払わなければなりません。特に信仰者である私たちは、便利さや豊かさによって親神様のご守護を感じにくくなったり、また人の心の在り様が分からなくなってしまうのは、心の成人も運命の切り換えもできなくなってしまうのです。

たとえば病気やケガに遭遇した時に、その事柄を通して我が心を反省し、親神様がお望みになる方向へ心の向きを切り換えられればよいのですが、果たしてそれがすぐにできるかどうか。また悩み苦しむ人の心から寄り添えるかどうか。こうしたことがしにくくな

つていとすれば、それは陽気ぐらしから遠ざかっていく姿であります。時代が進んで生活がいかに便利になってもそれに甘んじることなく、また流されることなく、親神様の思召と人の心を見つめ続ける信仰者でありたいものです。

*

ところで今から百七年前の十一月、大教会の初代会長様は名古屋で単独布教の第一歩を踏み出されました。その時のお気持ちを想像するに、一つは安藤家の親に断絶という悪いんねんを納消してもらいたいという願いと、もう一つは理の親のご期待に沿って、名古屋の地に天理教の信仰を根付かせたいという親一条の信仰

信念であったに違いありません。この両者はどちらも目に見えない心の動きであります。その心の向きが物やお金を優先する考え方から、目には見えない神の思召を最優先に考える方向へと大きく舵を切ったことによつて、事柄が起きてくる種が変わり、不思議なおたすけが次々と現れて大正三年に本愛宣教所が設立されたのであります。

■思召を悟る努力

どんなに小さな雑草でも、種が無くて生えている草は一つもありません。それと同じように、私たちの周囲に起きてくる事柄で、種が無くて起きてくる事情は一つもない。肝腎なことは、肉眼ではなかなか捉えにくい

見えない世界の中に存在しています。ですから現代の世の中で便利さと豊かさを享受している私たちは、世の風潮に流されることなく、常に「心の眼」を磨いて、親神様の思召を悟れるように努力を続けていく姿勢が肝要です。おふでさきに、

このみちをはやくしらすとをもへども さとりがのふてこれがむつかし (四一四)

その種に早く気づいて、悪しき種から良き種への切り換えをいかに実行するかにかかっているのです。

来年に六代会長就任の喜びを迎える今の旬にあつて、親神様は自分に何を望んでおられるのか。周囲に悩み苦しんでいる人はいないか。この点に「心の眼」を集中させておたすけの日々を歩むところに、魂の悪いんねんが納消されて、真にたすかる道へまた一歩近づいていくのであります。

【第64回】

ようぼくは常に心眼を磨き人だすけに一歩前進しよう

人生で大切なことは目に

布教実修所で修了式

3月14日、立教182年度本
愛布教実修所の修了式が行
われた。

1年間の布教活動を芳
い、大教会長より修了者一
人ひとりに修了証が贈られ
た。

立教182年度修了者

(令和2年3月14日付)

直轄 栗原 幸子

本耕 (本常盤) 加藤 礼子
" " 梶山 亜夫
" " 梶山ととき
" (本耕山) 河野まゆみ
" (") 高木はつ子
" (本耕水) 花井富久代
本正道 松下すみ江
本正道 出口 葉月
本仁愛 (本愛濱) 鈴木和加恵
本孝道 坂田 正子
本修徳 吉田 広子
本海部 (本海門) 水谷八千代
" (") 岩崎美奈子

本海部 (本海門) 杉山久美子
" (") 高橋 純子
" (本南陽) 加藤 徹雄
" " 加藤みね子
" (") 武田 當子
" 長谷川ユミ子
" 中島 美枝
" 細川やよい
" 渡邊眞由美
" 大橋 和代
" 二井 友希
" 以上25名

こはる会

3月1日、こはる会の委
員が新たに任命され、婦人
会・安藤くみ子支部長より
辞令が交付された。

委員

澁谷 昌美(本 耕)
石井 雅(本 耀)
伊藤 笑(本孝徳)
北川 由紀(本滋賀)
以上4名

女子青年

3月1日、女子青年の委
員長、副委員長並びに委員
が新たに任命され、安藤く
み子支部長より辞令が交付
された。現在の委員は次の
通り。

* * *

委員長

中島 結 (本清明)

副委員長

和光 真由 (本御重)

委員

村松 由季 (本 心)
大倉由里奈 (本一心)
水野 理歩 (本 知)

水野ひなよ (本 知)
種田 美里 (本 煥)
石井 亜実 (本 耀)
板山眞依子 (本濱松)
渡辺 佳那 (本清明)
水野たまえ (本 知)

山内 真琴 (本一宮)
中村 加奈 (本 心)
石井 果 (本 耀)
渡辺 葵 (本清明)
塚原由美恵 (本千原)
種田ゆかり (本 煥)
村松 文佳 (本 心)
門田二三美 (本理愛)
中島 里香 (本清明)
樋口 七海 (本 知)

加藤 未幸 (本 心)
村松 希実 (本高見)
門田 愛美 (本理愛)
吉田 莉菜 (本鈴鹿)
北川 誠美 (本滋賀)
古市 理彩 (")
小川 愛良 (")
以上28名

お知らせ

今般の社会情勢に鑑
み、大教会では、以下の
行事を取りやめさせてい
ただきます。

4月1日 おたすけ講話
4月13日 祭典講話
4月18、19日
総合団参
4月 直属巡教
5月1日 おたすけ講話
5、6月 部内巡教
以上

ハーフトゥタイム

3月14日午後、
東京・靖国神社に
ある桜の標本木で
桜の花が開花し、
開花宣言がなされ
た。今年は暖冬の
影響か、平年より12日も早
く開花し、統計開始以来、
最も早い記録になった▼桜
と言えはやはり「花より団
子」の花見を思い浮かべて
しまう。しかし、今年は何
年のように桜を眺めながら
お酒を交わす、楽しいひと
時は過ごせなさそうだ▼原
因は新型コロナウイルス感
染拡大の影響である。おか
げでこの数カ月の間で世の
中が一変してしまい、私た
ちの生活も変化してしまっ
た。まさに「三日見ぬ間の
桜」のようにだ▼今までは、
桜そっちのけで酒盛りに興
じていたが、今年は静かに
花を眺めてみよう。桜から
も「花は見て楽しめ」と言
われているような気がする。

第99回教会長資格検定

合格者

(令和2年2月17日付)

本良心 長良 英男

以上1名

第99回教会長資格検定講習会

修了者

(令和2年2月16日付)

本良心 長良 英男

以上1名

2月の初席者

本海部(本南陽) 藤森 亮太

以上1名

会長就任奉告祭

本桑名分教会(山本治行会長)では、3月22日午前10時半より、大教会長夫妻、安藤吉人氏をはじめ、多数の来賓を迎え、5代会長就任奉告祭が賑やかに執り行われた。

本愛中分教会初代会長

大橋丑松之霊の二十年祭

同分教会初代会長夫人

大橋春子之霊の三十年祭

本愛中分教会では2月16日午前11時より、初代会長・大橋丑松之霊の二十年祭並びに、初代会長夫人・大橋春子之霊の三十年祭が、世話人・吉田克義役員

を祭主として同分教会で行われた。

本美郷分教会初代会長夫人

本田明海之霊の三十年祭

本美郷分教会では2月23日午前11時より、初代会長配偶者・本田明海之霊の三十年祭が、世話人・中島功雄役員を祭主として同分教会で行われた。

大教会の公式HP開設

本愛誌バックナンバーもご覧いただけます

大教会ではこのたび、公式ホームページを開設しました。現在、フェイスブックなどのSNSでも情報を発信しています。が、公式ホームページでは大教会からのお知らせや、行内案内、沿革や大教会へのアクセスなどもご覧いただけます。にいがけのツールとしてご利用ください。また、大教会につながるようべく、信者を対象として「本愛誌」のバックナンバーをダウンロードすることも可能です。アクセスは、左記のURLもしくはQRコードから。



http://hon-ai.org

大教会日誌

令和2年2月25日～令和2年3月24日

2月

26日 本部月次祭

29日 常任役員会議◇役員会議

3月

1日 入社祭

祭主・大教会長 扨者・都築隆道、加藤成幸 指図方・出口道男 賛者・長尾 誠、安井 篤

春季霊祭

祭主・大教会長 扨者・出口道男、安藤正二郎 指図方・板山公司 賛者・塚原光男、山本正太郎

◇おたすけ講話—大橋新一郎

◇教会長連絡会

2日 よふき会例会

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・和光重男、杉村善男 指図方・板山公司 賛者・大池美公雄、細川 明

◇祭典講話—大倉光晴

◇大教会長挨拶

14日 布教実修所

おつとめ、修了式、布教実動、教理講座、振り返り、よろづよ八首

20日 婦人会例会

21日 おはなし会

22日 女子青年例会